

大分県土木建築部長期計画



と き め き

# おおいた土木未来プラン2015(改訂)

## 令和元年度 実施状況

いのち  
生命を紡ぐ県土づくり

令和2年9月  
大分県

# おおいた土木未来プラン2015(改訂) 令和元年度実施状況 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| はじめに                         | 1  |
| <b>第1章 県土づくりの3つの分野の取組状況</b>  |    |
| <b>第1節 安心な暮らしを守る強靱な県土づくり</b> |    |
| 1 治水対策の推進                    | 3  |
| 2 土砂災害対策の推進                  | 4  |
| 3 地震・津波、高潮対策の推進              | 5  |
| 4 交通安全対策の推進                  | 6  |
| 5. 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理        | 7  |
| 6. 危機管理体制の充実                 | 8  |
| <b>第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり</b> |    |
| 1 快適な都市空間の形成                 | 9  |
| 2 潤いのある水環境の創出                | 10 |
| 3 快適な住まいづくりの推進               | 11 |
| 4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援        | 12 |
| <b>第3節 発展を支える交通ネットワークの充実</b> |    |
| 1 広域道路ネットワークの構築              | 13 |
| 2 地域道路ネットワークの充実              | 14 |
| 3 海上輸送拠点の強化                  | 15 |
| <b>第2章 取組に当たっての視点の取組状況</b>   |    |
| 1 県民参加型行政の推進                 | 17 |
| 2 効率的・効果的な事業の推進              | 18 |
| 3 自然環境や周辺景観などへの配慮            | 20 |
| 4 人づくりの推進                    | 21 |
| <b>第3章 土木未来プロジェクトの状況</b>     |    |
| 1 豪雨災害対策                     | 23 |
| 2 南海トラフ地震対策                  | 25 |
| 3 九州の東の玄関口としての拠点化            | 26 |
| 4 大分都市圏交通円滑化対策               | 27 |
| 5 道路空間の再生                    | 28 |
| 6 大分県公営住宅マスタープラン2020の策定及び推進  | 29 |
| 7 社会資本の集中的メンテナンス             | 30 |
| 8 建設産業の魅力発信                  | 31 |

# おおいた土木未来プラン2015(改訂)

(計画期間:平成28年度～令和6年度の9年間)

## 1 基本理念

「景観十年、風景百年、風土千年」（「風土工学」富士常葉大学：竹林征三）という言葉が表すように、技術が生み出す価値は未来への種であり、それを芽吹かせ、育て、やがてその地の風土となって人々の生活に溶け込んでいくことが社会資本整備の理想の姿です。

世代を超えて、「関わった人・造った人の想い（生命）がこもり、利用する人々の安全・安心（生命）が守られ、次世代の人々（新しい生命）がその価値を讃える」ような“生命を紡ぐ県土づくり”を進めます。

## 2 県土づくりの3つの分野

社会資本の整備を進めるに当たっては、具体的な施策として3つの分野に織り込み、安心な暮らしを守り、地域の活力と発展を支える県土づくりを進めます。

### 1 安心な暮らしを守る強靱な県土づくり

- 治水対策の推進
- 土砂災害対策の推進
- 地震・津波、高潮対策の推進
- 交通安全対策の推進
- 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理
- 危機管理体制の充実

### 2 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

- 快適な都市空間の形成
- 潤いのある水環境の創出
- 快適な住まいづくりの推進
- 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

### 3 発展を支える交通ネットワークの充実

- 広域道路ネットワークの構築
- 地域道路ネットワークの充実
- 海上輸送拠点の強化

## 3 取組に当たっての視点

各施策の推進に当たっては、共通の基本的な考え方や留意事項として掲げた以下の4つの視点に立って行います。

### 1 県民参加型行政の推進

地域の意見やニーズを取り入れ、利用者の満足度を高めるため、構想、計画、実施、管理の各プロセスにおいて、各種団体や地域住民等との協働や県民の要請に対する迅速な対応を実施します。

### 2 効率的・効果的な事業の推進

限られた予算の選択と集中による有効活用や事業の透明性確保等のため、事業実施の各過程（計画・設計・工事・維持管理）において、事業評価、品質確保、先端技術の活用による生産性向上、事業執行マネジメント、価値向上の取組を実践します。

### 3 自然環境や周辺環境などへの配慮

豊かで美しい自然や景観の保全・形成するために、自然環境や景観への配慮、循環型社会や低炭素社会への対応に取り組みます。また、全ての人々が利用しやすく、全ての人に配慮したユニバーサルデザインの考え方を踏まえた公共施設の整備、改善に取り組みます。

### 4 人づくりの推進

社会資本の整備や維持管理及び災害時の対応を地域で支える建設産業の担い手の確保・育成に取り組みます。また、本プランを実行していく土木建築部職員の人材育成にも取り組みます。

# 第1章

## 県土づくりの3つの分野

### 第1節 安心な暮らしを守る強靱な県土づくり

- 1 治水対策の推進
- 2 土砂災害対策の推進
- 3 地震・津波、高潮対策の推進
- 4 交通安全対策の推進
- 5 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理
- 6 危機管理体制の充実

### 第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

- 1 快適な都市空間の形成
- 2 潤いのある水環境の創出
- 3 快適な住まいづくりの推進
- 4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

### 第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

- 1 広域道路ネットワークの構築
- 2 地域道路ネットワークの充実
- 3 海上輸送拠点の強化



1 治水対策の推進

●治水ダムの整備

- これまで3度（昭和57年、平成2年、平成24年）の大水害を受けた竹田市街地を浸水被害から守るため、玉来ダムの早期完成を目指し、平成31年3月に定礎式を行い、令和元年度は本体コンクリート打設や放流設備工事を実施しました。
- 大分川ダムについては本体工事が完成しました。

| 玉来ダム工程表                          | 平成29年度  |   |    | 平成30年度 |   |   | 令和元年度 |   |   | 令和2年度 |    |   | 令和3年度 |   |    | 令和4年度 |   |   |
|----------------------------------|---|---|----|--------|---|---|-------|---|---|-------|----|---|-------|---|----|-------|---|---|
|                                  | 4   | 7 | 10 | 1      | 4 | 7 | 10    | 1 | 4 | 7     | 10 | 1 | 4     | 7 | 10 | 1     | 4 | 7 |
| 準備工・仮設工                          | [Gantt chart showing preparation and temporary work from FY29 to FY40]          |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 基礎掘削工                            | [Gantt chart showing foundation excavation from FY29 to FY30]                   |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| ★起工式                             | [Gantt chart showing start of construction in FY29]                             |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| ★定礎式                             | [Gantt chart showing foundation ceremony in FY31]                               |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 堤体コンクリート打設                       | [Gantt chart showing dam body concrete pouring from FY31 to FY33]               |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 基礎処理・止水対策工（グラウチング）工              | [Gantt chart showing foundation treatment and waterproofing from FY31 to FY33]  |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 貯水池対策工                           | [Gantt chart showing reservoir countermeasures from FY31 to FY33]               |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 放流設備・水位低下設備・空気管・スクリーン・湛水ゲート製作・掘付 | [Gantt chart showing discharge equipment and other works from FY31 to FY33]     |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 工事用道路等                           | [Gantt chart showing construction roads and other facilities from FY29 to FY33] |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 貯水池管理用道路、工事用道路等の整備               | [Gantt chart showing maintenance of roads from FY31 to FY33]                    |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |
| 試験・湛水                            | [Gantt chart showing testing and water filling in FY40]                         |   |    |        |   |   |       |   |   |       |    |   |       |   |    |       |   |   |



●河川改修

- 浸水実績を踏まえ、58河川75箇所（箇所）で護岸・堤防や川の流れを阻害している河川内の横断工作物の改築を行いました。

河川改修により  
過去に浸水被害が発生した  
金吉川など16地区の対策完了

山国川



尾田川



●河床掘削

- 背後地の土地利用や浸水実績等を踏まえ、尾田川など109箇所（箇所）で断面を阻害している土砂を撤去しました。

●迅速・的確な避難体制等の支援

- 令和元年度までに、13市町が洪水ハザードマップの公表を完了しました。引き続き、市町村が作成するハザードマップ公表を推進します。
- 県内の簡易型河川監視カメラを60基増設し、災害時の情報提供機能の強化を行いました。
- 県内7地区に設置した大規模氾濫に関する減災対策協議会にて、水防災意識社会の再構築に向け、地域の取組指針を決定し、国・県・市で連携して取り組んでいます。

大規模氾濫に関する  
減災対策協議会



【目標指標】

| 指 標                    | 基準値 |     | R1年度 |      |        | R6年度 |
|------------------------|-----|-----|------|------|--------|------|
|                        | 年度  | 基準値 | 目標値  | 実績値  | 達成度    | 目標値  |
| 浸水対策が行われた地区数           | H26 | —   | 56地区 | 60地区 | 107.1% | 84地区 |
| 近年の豪雨実績を反映させた治水対策着手箇所数 | H26 | —   | 5箇所  | 5箇所  | 100.0% | 22箇所 |

【指標による評価】

| 評価 | 理 由 等   |
|----|---|
| 達成 | 計画的な事業展開と早期の効果発現に努めた結果、金吉川等の浸水対策を完了させ、目標値を達成した。 |
| 達成 | 計画的な事業展開と早期の効果発現に努めた結果、目標値を達成した。                |

## 2 土砂災害対策の推進

### ●砂防施設の整備

- 土砂災害から病院や社会福祉施設校などの要配慮者利用施設や地域防災拠点、重要交通網などを守るため、令和元年度は、県内294箇所において、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、井無田川など11箇所で砂防施設が完成しました。



災害関連緊急砂防事業 井無田川（津久見市）



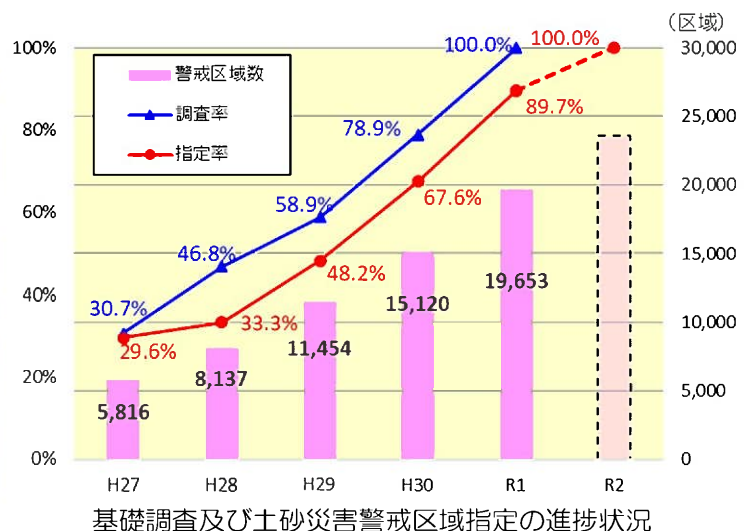
急傾斜地崩壊対策事業 上百谷地区（中津市）

### ●警戒避難体制の構築

- 土砂災害の恐れのある区域を明らかにし、警戒避難体制を構築するため、土砂災害警戒区域の指定に向けた基礎調査を4,141箇所を実施し、新たに4,533区域を土砂災害警戒区域に指定しました。



基礎調査の様子（由布市）



### 【目標指標】

| 指標          | 基準値 |       | R1年度  |       |        | R6年度     |
|-------------|-----|-------|-------|-------|--------|----------|
|             | 年度  | 基準値   | 目標値   | 実績値   | 達成度    | 目標値      |
| 土砂災害対策施設整備率 | H26 | 28.7% | 30.5% | 29.7% | 97.4%  | 32.1%    |
| 土砂災害警戒区域指定率 | H26 | 21.3% | 83.3% | 89.7% | 107.7% | 100%(R2) |

### 【指標による評価】

| 評価   | 理由等  |
|------|--|
| 概ね達成 | 砂防堰堤や急傾斜地崩壊防止施設などの砂防施設の整備が11箇所で完了し、目標値を概ね達成した。 |
| 達成   | 基礎調査を計画的に実施し、土砂災害警戒区域等の指定を着実に進めた結果、目標値を達成した。   |



3 地震・津波、高潮対策の推進

●地震・津波・高潮対策の推進

H28年度に発生した熊本地震に加え、近年発生が懸念されている南海トラフ地震を想定して、円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等において、重要な役割を果たす緊急輸送道路上の対策をはじめ、木造住宅耐震化の推進など多岐にわたり、その取組を着実に進めています。

また、高潮浸水想定区域図の公表を進め、住民の的確・確実な避難行動に繋がります。

土木建築部の主な取組

| 施設    | 対策  |
|-------|---|
| 道路    | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路啓開地区別実施計画に基づく事前の備えの充実</li> <li>啓開ルート上のり面崩壊対策</li> <li>緊急輸送道路上の橋梁耐震化</li> <li>緊急輸送道路における無電柱化</li> </ul> |
| 河川    | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸施設の耐震性能調査及び耐震対策設計</li> </ul>   |
| 砂防    | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の砂防施設の老朽化対策</li> </ul>   |
| 港湾    | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁の整備</li> <li>護岸・堤防の嵩上げや液状化対策等の耐震補強</li> </ul>  |
| 都市公園  | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難地や防災拠点に指定されている都市公園における必要な防災機能の充実・強化</li> </ul>   |
| 下水道   | <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道処理施設や管路の耐震化に向けた市町村の取組強化</li> </ul>  |
| 住宅・宅地 | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断・改修に対する支援</li> <li>県営住宅のガス管耐震化</li> <li>大規模災害時の応急仮設住宅の供給体制整備</li> </ul>                              |
| 特定建築物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホテル・旅館等の特定建築物の耐震改修に対する支援</li> <li>耐震改修促進計画の策定</li> </ul>   |
| 県有建築物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>県庁舎等の防災機能の強化</li> <li>県有施設の吊り天井の耐震化</li> </ul>   |
| 沿道建築物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送道路等の沿道建築物の耐震化</li> </ul>   |

橋梁耐震化の取組

県内に架かる長大橋と道路改良事業等により架け替えを行う橋梁以外についての落橋を防ぐ対策は、令和元年度に鶴崎大南線の別保橋など8橋が完了し、これまでに188橋の対策が完了しました。

今後は、平成8年より古い基準により設計された橋梁の耐震化を推進します。



耐震補強の事例（鶴崎大南線 別保橋）

【目標指標】

| 指 標   | 基準値 |     | R1年度 |      |      | R6年度     |
|---|-----|-----|------|------|------|----------|
|   | 年度  | 基準値 | 目標値  | 実績値  | 達成度  | 目標値      |
| 緊急輸送道路における橋梁耐震化率<br>(昭和55年より古い基準により設計されたもの) | H26 | 86% | 100% | 100% | 100% | 100%(R1) |
| 緊急輸送道路における橋梁耐震化率<br>(平成8年より古い基準により設計されたもの)  | H26 | —   | —    | —    | —    | 40%      |
| 耐震強化岸壁の整備数                                  | H26 | 2施設 | 3施設  | 3施設  | 100% | 4施設      |
| 市町村の国土強靱化地域計画の策定数                           | H26 | —   | 4件   | 4件   | 100% | 18件(R2)  |

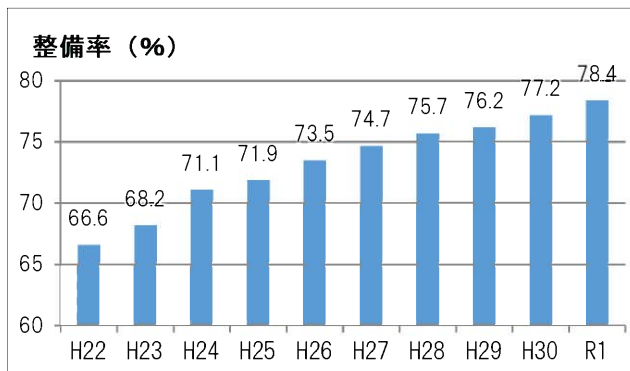
【指標による評価】

| 評価 | 理 由 等  |
|----|--|
| 達成 | R1年度は8橋の耐震補強が完了した。引き続き緊急輸送道路上の橋梁耐震化を推進していく。    |
| —  | R2年度から耐震化を実施することとしており、R1年度は評価を行わない。            |
| 達成 | 工事の早期竣工によりR1年度の割合の向上はないが、引き続き耐震強化岸壁の整備を推進していく。 |
| 達成 | 市町村の計画策定支援を進め、目標値を達成した。                        |

## 4 交通安全対策の推進

### ●歩道等の整備

子どもが安心して通学できる環境を整備するため、法指定通学路の歩道等を整備します。道路の利用状況に応じ、歩行者と自転車の分離を図ります。令和元年度は一般県道 万田四日市線など計6.5kmの整備を行いました。



県管理道における法指定通学路の歩道等整備率  
R2.3時点 78.4%

### ●学校や警察と連携した

#### 通学路等合同点検

学校関係者や警察と連携し、通学路合同点検や未就学児の移動経路の安全点検を行い、歩道やガードパイプの設置、路肩のカラー舗装など道路利用状況に応じた効果的な交通安全対策を実施しています。

令和2年度以降も各市町村において、通学路等の合同点検を実施し、抽出された箇所について安全対策を推進します。



一般県道万田四日市線（中津市）  
自転車歩行者道整備



未就学児の移動経路における緊急安全点検の実施状況  
（豊後大野市）

### ●事故危険箇所等の対策

交通事故発生割合が高い箇所等を事故危険箇所に指定し、集中的な事故防止対策を実施しています。

平成29年3月に指定された事故危険箇所19箇所(県管理)について、令和元年度までにすべての対策が完了しました。



国道197号(大分市坂ノ市)  
ガードパイプ設置



一般県道 高森竹田線（竹田市）  
ガードパイプ・車止め設置

#### 【目標指標】

| 指 標                  | 基準値 |       | R1年度  |       |        | R6年度  |
|----------------------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|
|                      | 年度  | 基準値   | 目標値   | 実績値   | 達成度    | 目標値   |
| 県管理道における法指定通学路の歩道整備率 | H26 | 73.5% | 78.0% | 78.4% | 100.5% | 80.0% |

#### 【指標による評価】

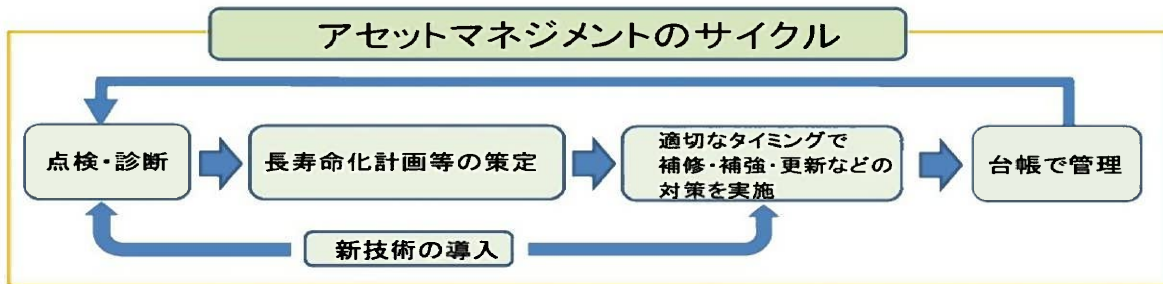
| 評価 | 理 由 等                           |
|----|---------------------------------|
| 達成 | 適切な進捗管理を行い、想定通りの成果を発揮させることが出来た。 |



5 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理

●老朽化対策（アセットマネジメント）

- 橋梁やトンネルなど主要18施設の点検診断を実施し、長寿命化計画を令和元年度までに策定しました。今後も、長寿命化計画を基に、適切なタイミングでの補修・補強・更新を実施するアセットマネジメントの取組を進めていきます。また、ドローン等の先端技術も積極的に活用し、建設現場の生産性向上に努めます。



橋梁の点検状況  
国道212号守実橋（中津市）



ドローンによる橋梁点検状況  
県道山香院内線新秋山橋（杵築市）



トンネル点検状況  
県道竹田五ヶ瀬線（竹田市）



橋梁の補修状況  
県道大在大大分港線 弁天大橋（大分市）

●適切な維持管理

- 道路パトロールや河川巡視などを着実にを行い、異常箇所の早期発見に努めています。
- 出水期前までに河川堤防や土砂災害の恐れのある箇所の目視点検を行っています。また、夏季の河川施設利用者が増える前に市町村など施設管理者と共同で河川プール、河川公園、親水護岸、遊歩道等の安全点検なども実施しています。



異常箇所の早期発見・補修



道路の草刈り



中央分離帯の防草対策

【目標指標】

| 指 標                              | 基準値 |     | R1年度 |     |        | R6年度     |
|----------------------------------|-----|-----|------|-----|--------|----------|
|                                  | 年度  | 基準値 | 目標値  | 実績値 | 達成度    | 目標値      |
| 平成25年度までの点検で確認された、早期対策が必要な橋梁の対策率 | H26 | 30% | 100% | 99% | 99.0%  | 100%(R1) |
| 平成30年度までの点検で確認された、早期対策が必要な橋梁の対策率 | H26 | —   | 29%  | 43% | 148.3% | 100%     |

【指標による評価】

| 評価   | 理 由 等                               |
|------|-------------------------------------|
| 概ね達成 | 橋梁長寿命化計画に基づき、進捗管理を行った結果、目標値を概ね達成した。 |
| 達成   | 橋梁長寿命化計画に基づき、進捗管理を行った結果、目標値を達成した。   |

## 6 危機管理体制の充実

## ● 平常時の取組の充実・強化

- ・災害時の緊急輸送体制の早期確保のために、平成27年6月に策定した「大分県道路啓開計画」に基づき、各地区の「地区別実施計画」を策定しました。
- ・熊本地震では大分港、別府港において支援物資が到着しました。発災時にその機能を維持又は早期復旧するための事業継続計画（港湾BCP）の充実を図ります。



道路啓開地区別実施計画に基づく訓練実施状況

## ● 災害発生時の体制の充実・強化

平成28年熊本地震、平成29年度北部豪雨・台風第18号による経験等を踏まえ、災害情報収集力の強化に取り組んでいます。

## (1) 大規模災害時における被災状況調査の受援体制の確立

- ・(一社)大分県測量設計コンサルタンツ協会や(公財)大分県建設技術センターと災害協定を締結し、技術者派遣に関する支援協力体制を確立

## (2) 上空からの被害状況の把握

- ・防災ヘリコプターによる被災状況把握（運用調整会議に新たに参画）
- ・航空写真撮影による被害状況の把握（発災後速やかに入手できるよう協定を締結）
- ・ドローンによる被害状況の把握（H29本格導入）



## ● 情報提供の充実・強化

分かりやすい災害関連情報の積極的な提供を進めるためにハザードマップの作成支援やホームページでの発信など県民への啓発活動などを進めています。

雨量・水位観測情報 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/17200/uryou.html>

危機管理型水位計水位情報 <https://k.river.go.jp/>

土砂災害危険度情報 <http://sabo.pref.oita.jp/dosya/index.html>

おおいた防災情報ポータル <http://oita-bosai.force.com/>

(県管理道路規制情報等)